



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2014-2015 年度

12月号  
NO. 302

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

EMC  
— MC

国際会長：Poul V. Thomsen (インド) 主題：「言葉より 行動を “Talk Less Do more”  
アジア地域会長：岡野 泰和 (日本) 主題：「未来を始めよう、今すぐに」  
東日本区理事：田中博之 (東京) 主題：「誇りと喜びを持って」  
関東東部部長：金丸満雄 (東京ひがし) 主題：「つなごう ワイズの ころろ」  
東京ひがしクラブ会長：高野真治 主題：「がんばれ！ひがし 012 え 19-19」

## 12月合同クリスマス例会

(東京江東&東京ひがし)

2014年12月13日(土) PM5:30~8:30  
東陽町センター視聴覚室&ウエルビー

### ☆プログラム

第1部 クリスマス礼拝 / 司会：菅原 創君  
奏楽：戸坂昇子さん

- ・讃美歌 106 番「あららのはてに」
- ・聖書：イザヤ9章1節~7節
- ・奨励：「平和の君を迎えて」  
北 秀樹牧師 (堺福音教会東京チャペル)

- ・献金
- ・讃美歌 109 番「きよしこの夜」

第2部 クリスマス祝会 / 司会 鮎澤正和君  
本間 剛君

- ・開会点鐘 / 挨拶 中野英一郎会長 (江東)
- ・ゲスト紹介
- ・バイオリン演奏 / 大槻美香さん
- ・食前の感謝
- ・乾杯
- ・会食 / 懇談
- ・ゴスペルコンサート  
堺福音教会東京チャペルの皆さん

- ・プレゼント交換
- ・閉会挨拶 高野真治会長 (ひがし)

## 仙台からメリークリスマス

竹内 聡

二星を動かす少女(松田明三朗作)の詩を捧げます

クリスマスのページェントで、日曜学校の上級生たちは、三人の博士や、牧羊者の群や、マリヤなど、それぞれ人の眼につく役をふりあてられたが、一人の少女は誰も見ていない舞台の背後にかくれて星を動かす役があつた。

「お母さん、私は今夜星を動かすの。

見ていて頂戴ねー」

その夜、堂に満ちた会衆はベツレヘムの星を動かしたものが誰であるか気づかなかつたけれど彼女の母だけは知っていた。

そこに少女のよろこびがあつた。

(散文詩集「年輪」より)

この詩をもとに「星をうごかした少女」という「紙芝居」が生まれました。

神さまは、母親のように「隠れたことを見ておられる」お方です。目立たず華やかさが無くても、この少女のように人に気づかれなくても大切な役割があるのです。ワイスダムも同じではないでしょうか。



### ✠ 今月の聖句 ✠

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

—ヨハネによる福音書3章16節—

### 11月例会

出席者	11名	ネット1名
会員出席数	8名	
在籍数	12名	ゲスト2名
(広義会員2名)		
メンバー	名	

会員出席率 80 %

### スマイル

11月  
8,000円  
累計  
51,000円

### プルリング

累計  
kg

### 2014-2015 年度役員

会長	高野真治
副会長	鮎澤正和
書記	金丸満雄
会計	須田哲史
担当主事	草分俊一

## ◇ 11月例会報告 ◇

11月例会はメンバースピーチ。竹内さんが厚生労働省で行われた健康セミナーに参加され、その時受けた講習内容を我々向けにアレンジしパワーポイントで解説してくれました。

普段から元気に体を動かすことで、糖尿病・心臓病・脳卒中・癌・認知症などになるリスクを下げるができる。今より10分多く体を動かすだけで、健康寿命をのばせる。+10(プラス・テン)で健康を手に入れましょう。①体を動かす機会や環境に気づく②万歩計をつけて生活を始める③目標を見つけ達成する④一人でも多く家族や仲間とプラステンを共有し、一緒に楽しむことで健康寿命を延ばそう。と、図解を説明しながら健康づくりをアピールしてくれました。

アピールタイムでは、ゲストのまだクラブ後藤邦夫会長より、2015年1月10日の在京ワイズ合同新年会では、多くの参加を待っていると、ホストクラブとしてのアピールがありました。



\*\*\*\*\*

## ◇ 第2回関東東部評議会 ◇

会長 高野真治

11月15日(土)東京YMCA東陽町センターで第2回関東東部評議会が午後1時30分より開催されました。

金丸関東東部部長の挨拶に始まり、部長報告では9月20日(土)に東京ベイサイドクラブが誕生したことにより、関東東部は10クラブになり会員数が140名を越えたとの報告がありました。また、関東東部部会が10月4日(土)に深川江戸資料館で行われ決算報告の後、13,000円の余剰金が出たので東日本区YES事業へ献金をしたとのことでした。

引き続き鈴木雅博地域奉仕事業主査より、CS事業資金申請は1クラブのみであり、期限を年内まで延期したとのことでした。環境問題に関心を持つために行われました、各家庭の使用電力調査は関東東部134名中44名の報告のみであったこと。ECOエネルギーについて、これほどまで関心がないことを痛感したとのことでした。

続いて村杉克己会員増強事業主査より、東京ベイサイドクラブが新しく設立され、関東東部の会員数が141名になったと報告。新クラブ設立賞(EMC-E)が出来たのでクラブ設立に努力してほしい要請がありました。スポンサークラブの東京ひがしクラブと東京江東クラブに、東日本区よりエクステンション支援金(YES基金)50,000円が、チャーターナイトの時に贈られた報告がありました。また、国際交流事業・ユース事業・メネット事業の報告があり、最後に竹内関東東部書記から後期半年報を2015年1月10日まで、クラブ前期活動報告を2015年1月17日までに、提出してほしいとのお願いがありました。今後の予定は次期会長・部役員研修会3月7日(土)8(日)・第3回関東東部評議会4月18日(土)・第18回東日本区大会6月6日(土)・7日(日)開催されます。各クラブ活動報告があつて休憩。休憩後、議案審議が行われ第1号議案から3号議案までありましたが、1号議案で茨城クラブより次期関東東部部長を諸事情により辞退したいとの緊急動議が提出され対応は役員扱いとなりました。第2号議案は関東東部バナーが作成されることとなりデザインをメールにて配信することになりました。第3号議案では、千葉クラブより「ガーデンニング・ボランティア」に使用するCS事業資金の申請があり30,000円の補助金とする決議がされ閉会となりました。

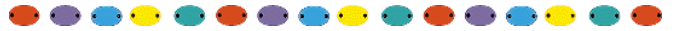
## ☆11月はひがし奮闘の月☆

9日恒例の江東YMCAバザー、珍しく小雨の中スタート。記憶にないテントの下でクレープ開店。しかし気づくと時折薄日が差す天気となり園庭は大賑わい。クレープも順調に販売しバザーは終了。早々に片づけを終え、次の東陽町コミ交流会のボーリング場に向かった。今年も青木委員吉田委員の協力で楽しい交流が出来ました。汗を流した後は決まりのカラオケ大会に、今年も大盛り上がりで交流は大成功。30日はグランチャ東雲カローリング大会。3年目となるこの大会、今年も近隣の12クラブのベテランチームが集まり、熱戦が繰り広げられた。ひがしは審判を担当、一ゲームごと緊張感をもって公正に審判を行いました。そんなこんなで今年の11月も、賑やかに楽しく動き回った月でした。お疲れ様!



江東Yバザー

東陽町コミ交流会



YMCAコーナー

Merry Christmas

担当主事 草分俊一

### ▼クリスマスオープンハウス

東陽町センター大イベントのクリスマスオープンハウスを今年も開催いたします。

日時：12月23日(祝)10:00~15:00

収益金は、国際・国内協力、陽春の集い災害支援、リーダー育成などに使われます。

プログラムは★フリーマーケット★バザー券★模擬店★被災地応援コーナー★災害体験★近隣小学校の絵画展★子どもひろば★ゴスペルコンサート★大抽選会★ウェルネスセンターワンコイン(500円)オープン!

東陽町センターを支えていただいている6ワイズより協賛金をいただきました。ありがとうございます。この協賛金で大抽選会の特賞にディズニールンドペアーチケットをご用意いたしました。是非、抽選券の購入にもご協力をお願いいたします。

事前準備として、バザーの仕分け、値札付け、前日は会場づくりなど、お力をお貸しください。

▼11月13日、東京YMCA東陽町センターを会場に「YMCA/YWCA合同祈祷会」が開催されました。『変革をもたらす大胆なリーダーシップ』というテーマのもとに松本敏之牧師(日本基督教団経堂緑岡教会)より「女たちによる赤ちゃん救出リレー」と題してメッセージをいただきました。各YMCA、YWCAより会員、役員、職員など59名が出席し、礼拝に引き続いて行われた第2部では交流の場が設けられました。

▼11月15日、会員協議会「ソシアスフォーラム」が「ユースを育てるYMCA ユースが担うYMCA」をテーマに山手センターで行われ、約40名が参加されました。齊藤貴氏(YMCA史学会理事長)の奨励による開会礼拝からはじまり、6月29日~7月5日に米国・ロッキーYMCAで開催された世界YMCA大会、ボランティアリーダーと山手学舎舎生からは「ユースボランティアに聞く-YMCA諸活動の今」と題して、また会員部からは「テラー基金国際交流プログラム」の報告がそれぞれよりなされました。分団協議ではテーマに沿った意見交換、話し合いの時間がもたれました。